

## 令和6年度丹後圏域地域リハビリテーション支援センター第3回事例検討会

「災害時に備えたりハビリテーション専門職の対応について考える」

### 実施要項

- 1 目的 丹後圏域地域リハビリテーション支援センターでは、一人ひとりの状態に応じたリハビリテーションサービスが提供できる体制を目指し、地域の医療・介護・行政等の地域リハビリテーション関係者に学ぶ機会を設けている。  
実践報告とグループワークを通じて地域のリハビリテーションの状況を理解し、課題解決に向けて検討することにより、関係者の連携体制の推進と関係職員の資質向上を図る。
- 2 今回のねらい 近年国内での災害の増加がみられ、丹後圏域でも震災から間もなく100年となる今、起こりうる災害対策に向けた取り組みの必要性があると考えます。そこで災害フェーズに応じた災害リハビリについて知るとともに、リハビリテーション専門職や関係者ができる対応について検討を行い、有事の際に備えたり丹後圏域のリハビリテーション専門職の対策づくりの一助を目指す。
- 3 主催 丹後圏域地域リハビリテーション支援センター  
(公益財団法人 丹後中央病院内 電話 0772-62-8301)
- 4 日時 令和7年1月28日(火) 17時00分～19時00分 (受付:16時45分～)
- 5 場所 各所属先(Web開催のため)
- 6 内容 1) 講師報告  
「災害に関わるそれぞれの立場から」  
京都府北部リハビリテーション支援センター PT 山元顕太氏  
京都第一赤十字病院 リハビリテーション科 PT 加藤大策氏  
2) グループディスカッション  
「災害時に備えたりハビリテーション専門職の対応について考える」  
3) 情報交換・グループ発表
- 7 対象者 丹後圏域のリハビリテーション専門職、リハビリテーション関係者
- 8 申込み方法 下記URLまたは二次元コードにてお申込み下さい。  
<https://forms.gle/ZgTA8s51AEPtHKKk8>  
締め切り 令和7年1月20日(月)必着  
※職場から複数人参加される場合グループディスカッションの参加に向けて可能であれば複数端末での参加をお願いします。一つのPC等を使用して複数で参加される場合も参加者全員の申し込みをよろしくをお願いします。

